

# 令和6年度第2回「官民技術交流会」開催のご案内

(開催趣旨は別紙1をご覧ください)

## 1. 開催日時：

2025年1月23日(木)

第1部 14:00～15:45 港湾空港技術研究所および会員からのプレゼンテーション

第2部 15:55～18:00 港湾空港技術研究所と会員との相互の技術交流

## 2. 場所：

TKP ガーデンシティ PREMIUM 横浜西口

〒220-0005 神奈川県横浜市西区南幸2-19-9 TKP 横浜ビル3階 (045-322-1361)

<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gcp-yokohama-nishiguchi/access/>

## 3. 交流会の対象領域

港湾空港技術研究所 海洋利用研究領域

## 4. 官民技術交流会のプログラム

**【第1部】研究計画・展望等のプレゼンテーション** 14:00～15:45

司会進行：港湾空港技術振興会

・開会挨拶 港湾空港技術研究所 14:00～14:10

港湾空港技術振興会

・プレゼンテーション 14:10～15:45

### 1) 港湾空港技術研究所からのプレゼンテーション

「海洋利用研究領域の紹介」

川口浩二 海洋利用研究領域長

「海象情報研究展望」

川口浩二 海洋利用研究領域長

田村 仁 海洋利用研究領域上席研究官

「海洋利用研究展望」

加島寛章 海洋利用研究グループ長

村田一城 海洋利用研究グループ主任研究官

### 2) 会員からのプレゼンテーション

## 【第2部】相互の意見交換・交流

15:55～18:00

司会進行： 港湾空港技術振興会

### ・第2部の内容（意見交換・技術交流）

- 1) 立食形式：各テーブルに港空研側からの参加者は分散します。
- 2) 意見交換・交流の話題：できるだけ第1部で発表したテーマに限ります。
- 3) 内 容：お互いに壮大な夢を語ります。
- 4) 総 括：最後に、会員会社からの参加者には、各社から一人1分程度で今回の技術交流会について自らの言葉で総括(感想)をお願いします。時間が極めて短いため自己紹介はお控え下さい。

### 5. 参加費

1,500円／1人（当日、受付でお支払いいただきます）

### 6. 参加者募集および参加者申込みの方法

会員会社からの参加者を募集します。会員各社で対象研究領域の研究・技術に関係される幹部・ご専門の方、1～2名で、定員は30名です。今後、港湾空港技術研究所の海洋利用研究領域に関する研究面での交流を希望される会員の参加も期待します。

参加希望者は下記の一般社団法人港湾空港技術振興会事務局まで、会社住所、会社名、役職、氏名、電話番号、メールアドレスを明記して、メールでお申し込みください。

お願い：各社2名まで参加申し込みができます。そのうち1名については先着順で受け付けます。残りの1名につきましては受け付けを保留し、開催案内をお届けしてから1週間経過した時点で定員に余裕がありましたら受け付けます。そのため2名申し込みの場合は、優先順位を付けてください。

定員になり次第締め切りますのでよろしくをお願いします。

### 7. 会員からのプレゼンテーションの募集

海洋利用研究、海象情報研究（別紙一2）参照の今後の進むべき方向等について、10分程度のプレゼンテーションをしていただける方を募集します。将来に向けてのアイデア的なものでも結構ですし、より具体的な取り組み事例でも結構です。応募いただける場合は、参加申し込み時に、簡単に2～3行程度で概要をお知らせ下さい。なお応募者多数の場合は御希望に添えない場合があります。

### 8. ご注意

官民技術交流会は第1部と第2部がセットになっています。どちらか一方へのご参加申し込みは受け付けません。

キャンセルは、1月17日（金）正午まで受け付けます。それ以降のキャンセルは、会場の規則でキャンセル料1,500円が発生する場合があります。前もってご了解ください。

## 9. その他

CPD 及び CPDS については登録予定。証明は、予め希望した方に対し第 1 部終了後にお渡ししますが、この際本人を確認できる書類（例えば免許証）をご提示ください。

連絡先

一般社団法人港湾空港技術振興会 事務局 柳嶋

〒239-0826 横須賀市長瀬 3-1-1

Tel.046-843-6558 Fax.046-843-2821

e-mail kwgin@ninus.ocn.ne.jp

# 官民技術交流会の開催趣旨

(一社) 港湾空港技術振興会

(一社) 港湾空港技術振興会(振興会)は、会員会社に国土技術政策総合研究所(国総研)と港湾空港技術研究所(港空研)の研究成果などを以下のような方法で提供してきました。

- \* 研究報告・資料等の図書の印刷及び配布
- \* 研究者による講演会の開催
- \* 両研究所主催の各種行事の案内
- \* “報告”・“資料”のバックナンバーのコピーサービス

これらは、最新の研究成果を会員各社に届けるという重要な意義がありました。ただし、いずれも研究終了後のまとまった成果の提供でしたので、研究所と会員との技術情報の交換は難しいものでした。そこで、研究者と会員各位との技術交流の場を持つために、まずは港空研と振興会が協議して、別紙の内容で「官民技術交流会」(交流会)を両者の共催で開催する運びとなりました。交流会では、まだ成果の出ていない現在進行中の研究内容や今後の展開、将来の研究計画、期待される研究成果の需要と社会への貢献等をテーマに両者で意見交換を図ることにしています。港空研は研究者が計画性や戦略性を持って民間企業の方々と昵懇な意見交換を行い、今後の研究活動を開いていく上で重要な情報・ヒントを得ることのできる場と捉えています。一方、振興会は会員各社が港湾・空港に関する国の技術政策に係る研究について計画段階から把握することによってそれぞれの経営戦略に活かし、また研究所との連携を図りながらより現場に適した技術を早く入手できる契機となる場になることを期待しています。

交流会は二部で構成されています。

第1部では、主に港空研が特定の研究領域について研究計画・展望等のプレゼンテーションをおこないます。

第2部は、第1部のプレゼンテーションの内容を踏まえて、各研究者と個別に、研究内容の詳細の確認や自社の経営戦略を鑑みた研究への期待や要望等を披瀝すること等を通じて相互の交流を行うこととしています。つきましては、対象研究領域の研究・技術に関係される幹部・ご専門の方にご参加頂き、会員各社の技術開発戦略等に活かせる情報を積極的に入手することをお願いする次第であります。

## 海洋利用研究領域の研究内容

### 【海洋利用研究グループ】

海洋利用研究グループでは、我が国における海洋エネルギーを利活用した発電技術（洋上風力発電や波力発電など）の積極的な導入を目指し、洋上風力発電施設の合理的な設計手法の提案や波力発電技術の開発、それらに関連する数値解析シミュレーションを用いた研究を行っています。また、港湾の係留施設において、防舷材や係船柱などの設計手法の高度化や係留船舶の安全性確保を目的とし、風や波に加え、津波や地震に対する係留船舶の船体動揺解析に基づく研究も進めています。

### 【海象情報研究グループ】

海象情報研究グループでは、国土交通省国土技術政策総合研究所（国総研）と協力し、全国港湾海洋波浪情報網（ナウファス）の運営および同観測網で得られた波浪観測データの解析および取りまとめを行うとともに、今後の波浪観測情報（とりわけスペクトル情報）の利活用に関する取り組みも始めています。さらに、4K カメラで撮影した海面画像や人工衛星データによる波浪推定、小型ブイによる波浪観測など新たな波浪観測技術にも取り組んでいます。